

歯科材料 03 義歯床材料
一般医療機器 歯科印象トレー用レジン(70832000)

ベISINGグレジンα

※【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸系のモノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

- 1) 形状 液材
- 2) 種類 ノーマルタイプ、スロータイプ
- 3) 成分 メチルメタクリレート、その他

粉材には「ベISINGグレジン」（届出番号：23B1X10001C03002）を使用する。

色調（粉材）：ブルー、ピンク

【使用目的又は効果】

本材は常温重合レジンであり、個人トレー、ベースプレート等の作製に用いる。

【使用方法等】

1) 個人トレーの作製

- ① 模型のアンダーカット部分を除き、印象材のスペースを確保するためパラフィンワックスを模型上に圧接する。
- ② 山八歯材工業株式会社製「ベISINGグレジン」粉末と本材液を計量器で採取し、約20秒間充分に混和する。粉を付属のスプーン擦り切りいっぱい（約7.5g）に対し、液を付属のロングスポイト目盛り2.5から3の間（約2.8ml）を目安に使用する。標準粉液比は粉10gに対し液3.8ml（3.5g）とし、混合する。
- ③ 混和開始後約20秒で手指に付着しにくくなるので、ポリエチレンシートに挟んで厚さ2mm程度のシート状に伸ばす。
- ④ 伸ばしたレジンをパラフィンに圧接した模型上に乗せ、全体を軽く圧接して形態を整える。
- ⑤ 辺縁の余剰部分を彫刻刀などでトリミングし、保持孔を必要とする場合にはバー、ポイントなどを利用して開孔する。（硬化後の開孔はラウンドバーなどを用いる。）
- ⑥ 取手は接合部に本材液材を付けて取り付ける。
- ⑦ 完全に硬化後模型から外してヤスリ、スタンプバーなどで仕上げる。

2) ベースプレートの作製

- ① 作業模型の表面に義歯床用分離材（山八歯材工業株式会社製アポロンセップ）を塗布する。
- ② 各個トレー作製と同じ要領で、一定の厚さ（1.5mmくらい）の大きな顎の形を作る。
- ③ 圧延したシートを作業模型上に模型の中心より外側に向かって空気の埋入を防ぎながら圧接する。
- ④ 硬化する前に彫刻刀などでトリミングする。

- ・硬化時間 ノーマルタイプ 5±1分
スロータイプ 7±1分 （23±1℃環境下）

【使用上の注意】

1) 使用上の注意

- ① 液の計量は付属の計量器を使用し、正確に計量すること。
- ② 液又は液と粉の混合物は、直接手で触れないこと。皮膚に付着した場合は直ちにアルコール綿で拭き取る。又、万一目に入った場合には、大量の水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。
- ③ 本材を使用する際には、適切な換気（1時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
- ④ 本材と他のトレー用レジンとの併用は避けること。
- ⑤ 本材を火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。
- ⑥ 高温となる場所（ストーブの側、直射日光が当たる場所など）に放置しないこと。
- ⑦ 本材容器の蓋を外した状態で放置しないこと。

2) 重要な基本的注意

- ① 本材の使用により発疹、皮膚炎等の過敏症状が現れた患者には、使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- ② メタクリル系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は、手袋などを用いて直接本材に触れないようにすること。
- ③ 本材の使用により発疹、皮膚炎等の過敏症状が現れた術者は、使用を中止し、医師の診察を受けること。
- ④ 重合レジンは、口腔内に装着するまで水中に保存し、残留モノマーを流出させること。

※【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- ・ 液は密栓して直射日光を避け冷暗所に保管すること。
- ・ 本材使用中、使用後は、開封状態で放置しないこと。
- ・ 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。
- ・ 一つの保管庫に大量に保管しないこと。
- ・ 使用及び保管場所には消火装置を備えること。

※【使用期限】

※EXP. XXXX-XX-XX は使用期限 XXXX 年 XX 月 XX 日を示す。

【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称等】

製造販売業者：山八歯材工業株式会社
電話番号：0533-57-7121
FAX番号：0533-57-1764
e-mail：box@yamahachi-dental.co.jp